

令和6年新年祝賀レセプション 林大使挨拶  
2024年1月24日 於大使公邸

本日は、令和6年新年会にお越し頂き誠にありがとうございます。私がブラジル大使として着任してから、早くも3回目の新年を迎えることができました。皆様とまたこのように新たな年の始まりをお祝いできることを大変嬉しく思います。

日本には干支というものがあり、昨年 of 新年会でお話しましたが、昨年はずうさぎ年で、まさに日ブラジル関係がうさぎのように「跳躍」した年でした。5月には日本が議長国を務めたG7広島サミットの際に、ルーラ大統領が訪日され、日伯の友好関係は一層深化しました。その結果の一つが、皆様もご存じかと思いますがブラジル人に対する短期滞在査証免除措置で、これは両国関係史上初の出来事でした。

昨年9月末にこの措置が導入されてから、更に多くのブラジル人の方々が訪日されており、査証免除措置導入直後である昨年10月のブラジルからの訪日観光客数は7265人で、コロナ前の2019年の同月と比べて、なんと56%も増加しました。引き続き、より多くの皆様に気軽に日本を訪れ、様々な魅力にあふれる日本を満喫されることを願っています。また、観光の促進を契機として、更に人的交流、経済・文化交流が一層活性化するよう希望します。

さて、2024年は辰年にあたります。辰は伝説上の生き物ですが、その力強く天に昇る姿から、日本文化においては立身出世や運氣上昇といった非常に縁起のよい存在とされています。今年はさらに勢いよく、辰が天に昇るごとく日ブラジル関係が発展する年になると確信しております。

2024年は、ブラジルがG20の議長国となり、日本から要人を含めた多くの方がブラジルを訪れます。両国にとって重要な年となる本年、日ブラジル関係を更に強化していきたいと思いますので、皆様の御協力、御支援をお願いします。

さて、今回の新年会では、先日出版されたブラジルにおける水墨画についての本の出版を記念する式典を行います。墨絵は皆様ご存じでしょうか。私もこの書籍の共著者として名を連ねる栄誉を得ているので、今回皆様にこの本をご紹介します、そして先程お話しした辰の絵をご披露させていただきたく存じます。

最後に、今回ご用意したコーナーのご紹介をします。式典が終わりましたらこちらの水墨画の本や墨絵作品を展示するコーナーを設けていますので、ぜひ

ご覧ください。また本日は若手日系人企業家ネットワークであるRENブラジルの皆様を招待し、若い世代や非日系人のネットワーキングにかかる取組を含め、日系社会の活性化に関する知見を共有する場所を設けています。また、訪日したい人々のためにJICA研修相談ブースを設け、JICAスタッフが、様々な訪日スキームの中から、皆様の関心・目的に沿ったスキームを紹介させていただく予定です。ぜひ、気軽にブースを訪れてください。

それでは、皆様にとって、2024年が素晴らしい年となることを心から祈念いたします。本年もどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

(了)